慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	平成七年度三田史学会大会；三田史学会平成7年度総会決定事項；大澤一雄氏の訃
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1995
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.65, No.1/2 (1995. 10) ,p.155- 158
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19951000-0155

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

平成七年度　三田史学会大会

研究発表

日本史部会

1　三浦半島における海防政策の展開と村方の動向――ペリー来航前後を中心に――　慶應義塾大学（大学院博士課程）　松田隆行

2　岡山平野における一七世紀の農業発展――草肥と牛利用を中心に――　慶應義塾大学（大学院修士課程）　磯田道史

3　中世後期古記録に見る病と、とりまく人々　慶應義塾大学（大学院修士課程）　水谷惟紗久

4　古代東国の地方豪族に関する一考察――『日本霊異記』下巻第七縁を手がかりに――　慶應義塾大学（大学院研究生）　斉藤瑞木

5　獄令郡決条における太政官覆審の意義について　駿河台大学　長谷山彰

東洋史部会

1　中国春秋時代の晋の縣・邑　慶應義塾大学（大学院修士課程）　丸山雄

2　オスマン朝勅令集に見る一九世紀のシリア社会――シリア国立公文書館史料を中心に　慶應義塾大学（大学院博士課程）　大河原知樹

3　初期イスマーイール派の救済史観　慶應義塾大学言語文化研究所　野元晋

4　中国におけるイエズス会士の任官問題　東京大学史料編纂所　浅見雅一

5　秦始皇帝陵建設の時代　茨城大学　鶴間和幸

西洋史部会

1　ロバート・スキャウェンと陸軍委員会――一六四三～四五年のイングランド議会軍の改革――　慶應義塾大学（大学院博士課程）　北條雅人

2　フランス革命史学史におけるジュール・ミシュレ――民衆の概念を中心に――　慶應義塾大学（大学院博士課程）　寺田貴一
3　ルネサンス人文主義と悪徳の問題　同志社大学　石坂尚武
4　Wakefieldの植民地理論――ニュージランド植民地を中心として――　広島大学（大学院博士後期課程）　二五義博

民族学・考古学部会

1　近世墓標の普及過程と石工――山城国木津郷梅谷村の事例から――　慶應義塾大学（大学院研究生）　朽木量
2　頁岩原石産地帯における石器石材の利用――山形県お仲間林遺跡を例として――　慶應義塾大学（大学院修士課程）　渡辺丈彦
3　黒海北岸のステップ地帯におけるスキタイの埋葬形式――地下式横穴墓にみる馬の埋葬――　慶應義塾大学（大学院修士課程）　山田真弓
4　インダス文明における煉瓦使用――諸都市の建築技法の比較研究　慶應義塾大学（大学院修士課程）　森裕子
5　富士講の消滅と存続に関する諸要因　慶應義塾大学（大学院修士課程）　原奈緒

シンポジウム

テーマ　「福澤研究の新しい視角を求めて――特に史料論との関連において――」

報告

福澤諭吉の日本近代化構想とアジア観　法政大学　飯田泰三
ウイグモアの見た創立期大学部法律科　慶應義塾大学　岩谷十郎
マイクロフィルム版福澤関係文書の編纂について　慶應義塾高等学校　佐志傳
オックスフォード史料からみた福澤諭吉とキリスト教　千葉県立衛生短期大学　白井堯子
近代言語文化史上の福澤諭吉の業績　大妻女子大学　進藤咲子
福澤関係史料の蒐集と整理について　慶應義塾福澤研究センター　西澤直子

福澤諭吉と「演説」及び「演説会」　慶應義塾志木高等学校　松崎欣一

討　論

土屋博政（慶應義塾大学）、中野目徹（筑波大学）、古田東朔（鶴見大学）、宮村治雄（東京都立大学）、村上一博（明治大学）、村上幸子（広島女学院大学）司会・坂井達朗（慶應義塾大学）

三田史学会総会

懇親会

三田史学会平成7年度総会決定事項

三田史学会委員・常任委員（平成7年7月～平成8年6月）

常任委員

会長　高橋正彦

庶務　柳田利夫、桐本東太、清水祐司、棚橋　訓

編集　坂井達朗、可児弘明、鈴木公雄、神崎忠昭

会計　大森雄太郎

会計監査　犬塚富士雄、湯川　武

委　員

日本史　峰岸純夫、鈴江英一、井奥成彦、長谷山　彰、糸賀茂男

東洋史　尾崎　康、山城喜憲、森　雅子、中間和洋、廣田律子

西洋史　田辺三千広、宮前安子、森岡敬一郎、米田　治、坂口昂吉
民考　小川英雄、近森　正、阿部祥人、藤村東男

大澤一雄氏の訃

本会会員・元商学部、経済学部及文学部講師・言語文化研究所兼任所員、横浜商科大学学長大澤一雄氏は、九月二日早暁胃ガンのため逝去された。享年六十七歳。

氏は一九二八年東京市生れ。五〇年慶應義塾大学文学部に入学、東洋史学を専攻して学部、大学院修士・博士課程を修了し、六三年に陳荆和教授の招聘で香港中文大学新亜研究所東南亜研究室助理研究員として留学された。七一～八七年商学部兼任講師、七三年から文学部・経済学部講師、また言語文化研究所兼任所員に就任された。この間、横浜市立港商業高等学校教諭から、六六年横浜商科大学専任講師に転じ、助教授を経て七三年教授。八六年五月から本年七月まで同大学長の要職にあり、かたわら神奈川大学野球連盟会長をも勤められた。在職中、同大学と台北・北京の諸大学との学術交流に尽力し、九四年には北京第二外語学院から名誉教授の称号を得られた。

共訳書に銭穆著『中国政治制度史論』（七八年・南窓社）、共著に「黎朝中期の明・清との関係（一五二七～一六八二年）」（山本達郎編『ベトナム中国関係史』七五年、山川出版社）、「阮朝皇帝の対外認識」（山本達郎博士古稀記念論叢編集委員会編『東南アジア・インドの社会と文化』上、八〇年、山川出版社）がある他、『史学』に論文数編を収める。